

2011年度協会賞審査結果について

私立大学図書館協会会長校
立教大学図書館
館長 石川 巧

2011年度協会賞には3件の推薦があり、2011年度第1回協会賞審査委員会（2012年2月24日開催）にて採否について審議が行われました。その結果が、2011年度第2回東西合同役員会（2012年3月9日開催）に答申され、協議した結果、以下の2件が2011年度協会賞に採択と決定いたしました。

なお、協会賞の表彰は、慶應義塾大学で開催される2012年度総会・研究大会開会式にて行われます。

記

1. 広島修道大学図書館

「『明治法曹文庫』の関連事業」

採択の理由は次のとおりです。

- ・ 推薦された事業のなかの「明治法曹文庫の概要」は、他機関から譲与された資料群の文庫構築に至る経緯を詳細に辿っており、広く他大学においても参考になる資料である。
- ・ 開学50周年を機に、明治法曹文庫のさらなる充実と広報をはかり、労作「明治法曹文庫目録増補改訂版」を刊行したこと、展示会、講演会等の多彩な取り組みをおこなったことは協会賞に値すると評価する。
- ・ 従って、協会賞審査の申し合わせ事項の採択可否ポイント（1）の（ア）と（エ）に該当すると判断し、協会賞に採択する。なお、採択については、「明治法曹文庫の概要」を何らかの形で公表することを条件とする。
- ・ 補足 「明治法曹文庫」を今後も充実・発展されるよう期待する。

2. 創価大学中央図書館

「創価大学全学読書運動 Soka Book Wave」

採択の理由は次のとおりです。

- ・ 推薦された事業は、多様な工夫を施した図書館の読書活動であり、一般的なりテラシー教育よりも読書に重点をおいて事業を展開していることが評価できる。
- ・ 同様の読書活動は多くの大学図書館で試みられているが、当該図書館はホームページ等で多面的な情報提供をしている点で読書活動に貢献すると同時にあらゆる手法を用いて、読書活動を長期に渡って息切れせずに実施している点が評価できる。

- ・従って、協会賞審査の申し合わせ事項の採択可否ポイント（１）の（ア）と（イ）に該当すると判断し、協会賞に採択する。
- ・補足 長期的な活動であるため、活動内容の定期的な見直しが必要であると思われる。今後の充実・発展に期待する。

以上